



（うし）、オ
オツノシカの
角と骨、植物
化石とともに
同じ湖底堆積
地層から採集

された。このことは、野尻湖
周辺に人類（野尻湖人）が狩
猟生活を営んでいたことを思
わせるのである。

野尻湖層から発掘された人
類の遺物には、ナウマンゾウ
の骨で作られた色々な骨器が
ある。獣の皮を剥ぐ骨製スク
レーパーや獣の骨肉を切り刻
む鉋（なた）状骨器など。そ
して、石製スクレーパー、ナ
イフ型石器、タタキ石、木槍
等々。人骨は風化してしまっ
たのであるのか、見つからな
い。しかし、野尻湖の畔に野
尻湖人ともいうべき我々の祖
先が、ナウマンゾウやシカを
追い求め、これらの器具を使
って狩猟生活をしていたこと
は確かであろう。さて、それ
は何時頃のことであろうか。

縄文人や弥生人のルーツ

より、その人やその動物自身
の年代が算出できるようにな
った。

さて、この年代測定の新兵
器を用いて、野尻湖人と同じ
時期に生存していたナウマン
ゾウやオツノシカの年代測
定が試みられた。その結果、
その年代は五万年前から三万
五千年前と測定された。野尻
湖人は三万年前よりも古い時
代の人類であり、従来考えら
れていたような新人ではな
く、ネアンデルタールと同じ
旧人であったことが明らかに
なった。この人達のルーツは
何処に求めるのだろうか。今
後の学際的な研究が期待され
る。（名古屋大学名誉教授）

なかい・のぶゆき
1928年大阪府生
まれ。名古屋大学理
学部卒業。理学博士。
今年3月、名古屋大
学教授を定年退職。現
在、名古屋大学名誉
教授。名古屋大学名
誉教授。

出版 新情報

銀河はなぜ、右巻きと左
巻きがあるのか、銀河はど
のように誕生し、進化
していくのか。近
年、こうした銀河と宇
宙に関する知的関心度
は高まっている。その
意味で、先ごろ、一般
向けに刊行が開始され
た叢書「NEW CO
S MOS SERIE

S」（佐藤勝彦編）は時宜
を得たもの。本書は、その
第一弾である。著者の家氏
は、現在国立天文台教授
で、日本の天文学を代表す
る研究者の一人。次世代の
大型望遠鏡JNLT（すば
る）の建設に従事すること
も、銀河の観測研究を精
力的に続けている。

本書の前半では、渦巻銀
河や楕円銀河の構造と性
質、活動銀河中心核や銀河
集団で起きている様々な現
象について、具体的に解説
している。後半では、数千
億個存在すると推定されて
いる銀河の分布の測定や形
成、進化、また宇宙の大規
模な泡状構造、CCD（電

家 正則著 『銀河が語る宇宙の進化』

荷結合素子）カメラの実用
化により見え始めた二八等
級の無数の微かな銀河、宇
宙創生期の個々の天体
など最新の知見を紹
介。
さらにJNLT計
画、つまりハワイ島の
マウナケア山頂に建設
中の、赤外線観測で
きる世界最初の大型望
遠鏡など今後のハイテク計
画にも言及。この計画が完
成すると、「すばる」は銀
河・宇宙の研究で世界で最
も活躍する望遠鏡になると
著者は述べる。
文中には、写真や図版も
豊富に挿入。また用語や言
葉づかいも、正確を期し、
かつ平易な書き方になって
いる。二〇一〇年には超基
線干渉計、二〇一〇年地上
望遠鏡、月面天文台なども
建設されているかもしれない
というロマンあふれる本
書は、初心者のみならず天
文学の研究者にとっても格
好の読み物といえる。
（培風館、定価一四八〇
円）

マツザカヤの

上野店

お歳暮大ギフトセンタ

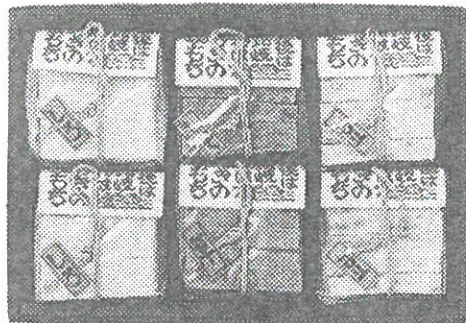
銀座店

お歳暮ギフトセンタ

食品ギフトセンター 上野店



日本の伝統 特選の味ギフト
壬申年の梅「五福」(12kg 美濃焼壺 木箱入り)
15,000円(送料込み)



日本の心 米ギフト
△新潟△久比岐餅詰合せ(餅×2
しそ餅×1 草餅×1 豆餅×2)
4,000円

